市報とおかまち

昭和37年2月15日（木曜日）　定価一部 5円　発行 毎月15日　発行所 十日町市役所

昭和37年
2月号
昭和32年6月5日
第三種郵便物認可

今月の納税

固定資産税（才5期）
国民健康保険料（才6期）
納期 2月28日

人口の動き

人口	42,020
男	19,935
女	22,085
世帯数	7,883

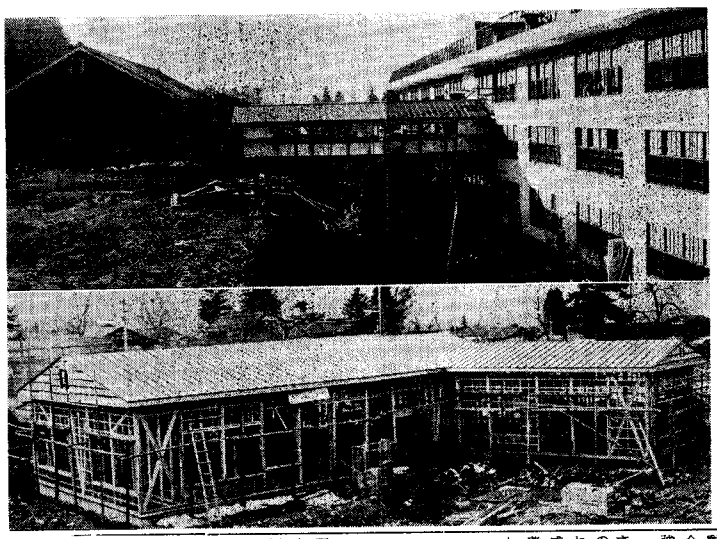
満場一致で受入れ
―緊急臨時市議会―
十日町、水沢の合併

十日町市の緊急臨時市議会は去る三日開かれ、水沢村の合併申し入れを満場一致で受理しました。

水沢村との合併問題につきましては昨年十月六日に水沢村村議会から口頭により十日町市へ合併の申し入れを行ったのをはじめに次第に表面化し、懸案となっていたものであります。本年に入りまして一月二十九日水沢村では十日町市への合併につきましては村議会を招集して合併の申し入れを決議し、翌三十日水沢村長議長ら数人が十日町市を訪れ正式に合併を申し入れました。市ではこのため合併特別委員会を設け今後の受入れ準備に入ることになりました。

一方同じの市議会におきまして村山市長は懸案の上越西線の問題につきまして、田中代議士から国鉄に一任することに同意してもらいたいとの要望があったことから津南、中里、川西、六日町、湯沢など関係町村に同意を得たという現状につき説明があり、市議会の同意を要請いたしました。尚、合併特別委員はつぎのとおりです。

◎柳宗立○竹内真、樋口敬太郎、近藤熊四郎、渡沢忠太郎、山口海藤三郎、片貴吉、大島昭三秀二、島田直治、保坂真平、小



十日町小 二期工事竣工
保育所は三月完成

十日町小学校は昨年約四六〇万円で第二工事現を完了しましたが、第二期工事も約三六〇万円の工事費により竣工し一月二十五日PTA主催のもとに祝賀の竣工披露を行いました。本工事の完了により普通教室合わせて二十七教室、屋内運動場一棟が完成、三年生以上が全員新校舎に移り喜々として勉強しております。

本年は完成の年になっておりますが補助起債対象坪数が僅少の上、請負工事費の値上り、合わせて普環及び大体育館の完成等、工事量も多く、莫大な市費を必要としております。しかし本工事が完成いたしますと昭和三七年度は完成予定年次になっておりますが、第三期工事も補助起債対象が僅少のため莫大な市費を必要といたします。故郷をあとにして東京に住所を持たれている東京十日町会の方々も、この低校の建築につきまして異常な関心を示され、続々寄い寄附金の申込みがありました。今までに寄せられた寄附者の氏名は次のとおりであります。なおこの他長岡、桐生神戸、川崎各市在住の郷土出身者からもあたたかい寄附の申し込みがあり、関係者を喜ばせております。

▽中山竜太郎＝十万円▽春日田円。

贈与税の申告と納税
二月末まで

（一）贈与税の課税価格は昭和三十六年中の一ヵ年間を通じて贈与を受けた財産の合計額ですが、この額が基礎控除の二十万円をこえている方。

（二）昭和三十六年中に十万円をこえる財産の贈与を受けた方が同じ人から昭和三十六年中または三十四年中にも十万円を超える財産の贈与を受けている場合この（一）又は（二）に該当している方は一月一日から二月末日までの間に贈与税の申告と納税をしなければなりません。

申告書用紙や説明書は税務署にありますが計算の方法、手続などについては税務署へおたずねください。

十日町小学校 寄附金
ぞくぞく申込み各地から
＝東京十日町会など＝

すでに十日町小学校は一月二五日第二期工事を終了し、下で待ちうる有数な校舎が誕生することになっております。

市立保育所は昨年の十一月十二日、旧十日町小学校の跡地に協和建設株式会社の手によって着工しました。この市立保育所はその後順調に工事が進行しすでに約八〇％が完成し、三月十五日の竣工予定であります。

四月一日には、働く婦人の一助として待たれたモダンな保育所が誕生いたします。入所保育児は定員九十名。職員は所長以下七名によって運営される予定です。

37年度予算編成中
要求額五億二千万円
重点施策を推進

昭和三十七年度の予算編成は現在財政課で各課と検討し整理中ですが、近く成案ができる見通しとなっています。

昨年は当市の主要産業でございます繊物界が未曾有の好況を示し、その生産額も六〇億の カベを突破し、まことに喜ばしき傾向ですが、明年度における十日町市の財政事情を見ますと、十日町小学校第三次建築工事をはじめ、いくつかの大きな継続事業があり、殊に厚生体育館の新築特別会計の赤字補てんなど、一方収入面におきましても政府の金融引締政策の影響もあって市税の大巾増収もあり期待できないことから、新年度予算編成も相当の困難性をおびています。

予算編成の基本方針は何んといっても地方自治の本旨にのっとり健全財政の堅持を第一として新市五ヵ年計画の線に添って市民の福祉増進をはかる重点施策を完遂すべく特に意をもちいています。これらの実施に当りましては、県の補助金並びに資金導入を極力積極的に講じ消費的経費を極力抑制し、投資的経費に振り向けるよう努力しています。新年度における各課からの要求額は合計約五億三千万円にのぼり、本年度の予算を約一億三千万円も上回っておりますが、これらの調整につきましては仕事の重要度によりまして、慎重審議の上、査定されるわけでございます。

予算編成の基本方針は何んといっても地方自治の本旨にのっとり健全財政の堅持を第一として新市五ヵ年計画の線に添って市民の福祉増進をはかる重点施策を完遂すべく特に意をもちいています。これらの実施

【写真は ㊤二期工事の終った小学校 ㊦建築中の保育所】

ナダレに注意
各路線とも危険

なだれの発生シーズンがやって参りました。

市では昨年から市内のなだれ危険箇所に対して"なだれに注意いたしましょう"と書いた赤い標柱を立てて、なだれによる事故防止に努めておりますが、まだ〆なだれによる災害は相当数にのぼっております。市建設課の調べによりますと、市内のなだれ危険箇所は県道八、市道三で、ほとんど全市域にまたがっております。このうち最も危険とされているところは、県道六日町―十日町線、柏崎―岡野町―十日町線、十日町―羽倉線となっておりますが、そのほか大体つぎの路線が注意を要する箇所となっておりますので、充分気をつけて下さい。

◎十日町地区＝県道小出―十日町停車場線
◎中条地区＝県道小出―十日町線、焼野―浦佐停車場線、城内十日町線
◎下条地区＝市道下貫線、上貫線

固定資産 課税台帳縦覧
異議申請は三月中
（37年度）

昭和三七年度分固定資産の価格が決定しましたので、例年どおり関係者の縦覧に供します。今年は基準年度でありませんから三六年中に土地の地目変換等の異動、家屋の新築、増改築等のあったもの以外は前年の価格が据置かれます。従って異議申請のできるものは三六年中に異動のあったものに限られます。異議申請の期間は三月一日から三〇日までで、この期間を過ぎると異議申請ができないことになっています。

縦覧の場所は下記のとおりですが出張所については係員が毎日出張できないので出張の日程を定めましたから、くわしい説明は当日か又は税務課に電話連絡をして下さい。

縦覧場所	係出張日程
市役所税務課	三月一五日一六日
吉田出張所	三月一三日一四日
下条出張所	三月六日七日

市役所辞令

一月一日付で人事異動が次のとおり発令されました（カッコ内は旧所属）

▽市長室長補佐・職員係長兼務 高橋佐（税務課市民税係長）
▽庶務課長補佐庶務係長兼務 内山仙吉（庶務係長）
▽財政課長補佐財政係長兼務 村山栄一（財政係長）
▽市民課市民係長 樋口 徹（市長室職員係長）
▽税務課市民税係長 山田又重（下条出張所主任）
▽下条出張所主任 近藤 豊（市民課市民係長）
▽建設課長補佐管理係長兼務 藤田幸作（建設課管理係長）
▽建設課建築係長 小林虎男（建設課）
▽保険衛生課長補佐衛生係長兼務 南馨幸一（保険衛生係長）
▽社会福祉事務所次長保護係長兼務 山田真佐栄（保護係長）
▽社会福祉事務所国民年金係長 島田久蔵（税務課）

調理士試験

●受験資格　調理法施行規則第四条の施設又は営業所において食調理に従事し二年以上の経験のあるもの
高等学校の高等学科卒業者
●必要書類　①履歴書　②写真（六ヵ月以内にとったもの、裏へ撮影年月日、住所、氏名）上半身名刺判　③調理実務経験年数証明書　④手数料、その他吉田明細は保健所へ御照会下さい。
●試験月日　昭和三十七年二月二十五日
●試験会場　新潟市、新発田市、長岡市、高田市
●願書提出期限　昭和三十七年二月二十八日
●願書提出先　十日町保健所

●十日町税務署庁舎新築

昨三十六年四月着消えと同時に旧木造建物をとりこわし、その場所に鉄筋コンクリートで新築中でありましたがこの程竣工し、先月二十日から新庁舎において執務を開始しました。電話は三一八一（代表）であります。

●第六回 国連劇脚本募集

■内容　国連の精神を実現するに役立つものでお互いに平和を尊び、たすけ合う気持を起すようなことを内容とする。
■メ切及び結果発表期日
◎メ切期日＝三十七年三月十日（同日の消印のあるものは有効とする）
◎結果発表期日＝三十七年四月十五日
■入選　最優秀賞壱篇拾万円也　佳作弐篇二万円也
■送付先　東京都千代田区丸ノ内三ノ六（三菱仲四号館四号）
日本国際連合協会

●犬の放飼いはやめましょう

最近市内で犬の放飼いが目立って増えてきました。このため通行人や特に小さな子供にかみついたりして大変迷惑をかけているようです。又他人の玄関先に排泄したり、いろいろの苦情がでておりますが愛犬家はこの点充分ご理解して犬の放飼いは絶対にやらないように注意して下さい。

十七日にフタあけ

―豪華な前夜祭―

第13回雪まつり　チンコロ市もお目見え

恒例の第十三回雪まつりは十七・八日の二日間にわたり賑やかに行われます。

行事は例年のとおり、前夜祭の雪上きものショー、スターマインなどで幕をあけ各種催しが計画されておりますが、本年は新しい試みとしてチンコロ市、絵石展、俳句、川柳大会などが登場して趣の異った賑わいな雪まつりになりそうです。

二月十七日（土）

◇歓迎パーティ　午後五時（組合ホール）

◇雪上きものショー　午後七時五分（十高グランド）

◇アトラクション　午後七時半（同）

◇民謡まつり　午後八時二十分（同）

◇紙芝居まつり　午後八時二十分（同）

◇雪上スターマイン（同）

◇フィナーレ（同）

二月十八日（日）

◇雪の芸術展（市内各所）

◇市民懇親スキー大会　午前十時（樺現山スキー場）

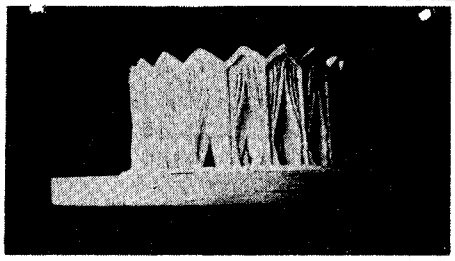
◇俳句、川柳大会　午後七時（正念寺）

◇写真コンテスト（織物会館）

◇チンコロ市（昭和町二、三丁目）

◇絵芝展（十日町新聞社前）

◇ボンヤラ祠（市内各所）



電話の発信音が変ります

電話の発信音が高くなったり話し中、音の音色が変ります。

昨年十月一日から実施の予定でしたが、工事の都合上遅れて二月十六日から実施いたします。

これは、今後長距離の通話が多くなっても正確に識取出来るように、サイクルをあげたものです。なお連絡しておかげになる場合、発信音"ツー"という音が出ていないときはまだ機械が復調していないのですから、受話器をかけてしばらく経てから発信音の出るのを待ってからダイヤルを回して下さい。

ダイヤルを回してから間こえるツーン、ツーン、ツーンは、お話し中ですから、この場合は話し中が終る頃をはかってかけなおして下さい。

期待される大作

―雪の芸術展―

呼びものの雪の芸術展は十二座小・田中本通りマ市役所。

日現在雪まつり事務局に申し込んだものはつぎのとおりで作品名は全部決定しませんがそれぞれ大作が期待されております。

▽昭和町二、三丁目職業訓練所▽稲荷町▽川原町▽鍛冶町▽駅通り▽昭和町四▽南田町▽泉町▽ボーイスカウト▽大井田小▽新

ご協力ありがとう

市報が一位に入賞

市町村の広報技術水準の向上をはかろうという市町村広報紙コンクールは今年第十回目を迎えて去月二十七日、県で審査が行われましたが、参加市郡十五紙、町村部四十二紙の中で、十日町市の応募作品"市報とおかまち"五十七号（七月号）が市町村部四十二紙の中で、十位で毎年一段ずつ上って本年ようやく一位にこぎつけましたが、これも市報の配付に努力されております。市政事務嘱託員をはじめ市民の皆さんの絶大なる協力があった賜でございまして当局といたしまして深く感謝いたしております。今後とも益々その道に精進し、市民に親しめる広報紙の編集に努力する心掛けでございますので一層のご協力をお願い致します。市政部におけます成績はつぎのとおりでした。

▽最優秀知事賞　新潟市政だより

▽一位市報とおかまち

▽二位広報たかだ、長岡市政だより

▽三位いといがわ、広報しばた

広報みつけ

小出に魚沼学園

精神薄弱者の保護指導

精神薄弱者を特別に教育する施設が北魚の小出町に建てられ明春四月から「魚沼学園」として開園になります。

この学園は五〇名を収容できるもので、十日町市には七名の児童が適当な保護指導を受けなければ困るというご家庭がございましたら、つぎの内容をよく お読みになって市社会福祉事務所へお気軽にご相談下さい。

精神薄弱者に対する法制として最初にとりあげられたのは、昭和二十五年五月に制定された精神衛生法で、その後昭和三十四年に十八才以上の精神薄弱者援護施設の整備費の国庫補助が全国で三ヵ所分予算が計上されそれと同時に社会福祉事業法の一部が改正され、十八才以上の精神薄弱者を収容して援護を行なう施設を経営する事業が第一種社会福祉事業とされた。これによって成人の精神薄弱者援護の基盤が確立され、精神薄弱者福祉法制定の足がかりが作られたわけであります。

精神薄弱者は知能欠陥の程度により魯鈍（ろどん）、痴愚（ちぐ）および白痴（はくち）の三種に分類されています。

次にこれらの精神薄弱者は一体どのくらいいるかと申しますと、昭和二十九年の精神衛生実態調査によれば、痴愚、白痴だけで五十八万人とされておりこれに魯鈍級のものを加えれば全人口の約三%にあたる二百五十万人ないし三百万人にのぼると推定されております。このうち農家の作男とか女中となって三年間に